

王子の結婚

父である王様は王子について不安がありました。後継者として国を率いていく者として王子の性格が優しすぎるということ、そして、生まれて間もない頃にアシタ仙人によって予言された救済者としての道を歩む可能性のことでした。

そこで、結婚し子を持ち次の世継ぎを持つことで王子が後継者としてとどまると考えました。

妃を迎えるにあたって「競技納妃」ということが行われたと仏伝にあります。弓などの武芸を競い合い、その勝者に妃を迎える権利があります。王子は見事に勝利し一族からヤショーダラー（耶輸陀羅）という名の女性と結婚しました。清楚で、賢く、美しい女性であったようです。ヤショーダラーとは「誉れを保つ」という意味です。

シッダールタ王子、16歳のときでした。そして、王子と妃の生活は不快なもの、不吉なもの、不淨なものは一切目に触れない、華麗な日々がありました。宮殿の高樓に住み、舞楽に囲まれて過ごしていました。

ちなみに仏伝には前世からの因縁により「ゴーパー」という妃とも結婚したとあります。正室、側室というような区別があつたかもしれません。

さて、月日は流れ、王子29歳ついに長子が誕生します。

それは、これで王子は出家をせずに王位を継ぎ、王家の繁栄が約束されたという思いからです。

しかし、王子は長子の誕生を告げられたとき、つぶやきました。

「障害（束縛）が生じた……」

なんと、それはそのまま長子の名前になりました。「ラーフラ」（羅喉羅）といい、それは「邪魔者・障害」という意味です。



→現代インド(ヒンドゥー教)の結婚の様子。

が邪魔であると思ったのでしょうか。それはやはり出家でした。愛する家族と別れる苦しみは、そのまま出家の妨げになると考えたのでしょう。

後日談ですが、このラーフラは、後に仏教教団に入り、傑出した宗教者となりました。

ヤショーダラーは家族の重要な一員となり、仏教の聖女の一人となりました。

それでも王子は出家することにしたのです。

(つづく)

が邪魔であると思ったのでしょうか。

それはやはり出家でした。愛する家族と別れる苦しみは、そのまま出家の妨げになると考えたのでしょう。

後日談ですが、このラーフラは、後に仏教教団に入り、傑出した宗教者となりました。

ヤショーダラーは家族の重要な一員となり、仏教の聖女の一人となりました。

それでも王子は出家することにしたのです。

(つづく)

The Zenninji News
善仁寺寺報
ぜんにんじじほう
Vol.14

Copyright (C)2012
Zenninji Association
All Right Reserved

The Zenninji News

善仁寺寺報

ぜんにんじじほう

平成二十五年九月十五日発行

「報恩講によせて」

講師 大久保 良知

(淨樂寺前住職)

(前号続き)そして、先ほどいました唯円に戻りますと、歎異抄の第一章に親鸞聖人の教えのエキ

スが述べられております。

「弥陀の誓願不思議にたすけられまい、らせて往生をばとぐるなりと信じて念佛申さんとおも

いたつころのおこるとき すなわち攝取不捨の利益にあずけしめたもうなり 弥陀の本願には老少善惡のひとをえらばず 信心を要とするべし そのゆえは罪惡深重煩惱熾盛の衆生をたすけんがための願にてまします しか

れば本願を信ぜんには他の善も要にあらず 弥陀の本願をさまたぐほどの悪なきがゆえにと云々」

そのときに、「弥陀の誓願不思議に助けられる」これは「不思議」にたすけられたんですよ。誓願というのは如來の願いなんです。どういう願いかと申しますとみんなが助かっていこうよ。苦しいけれども、その苦しみをかかえていくのが人間だら。泣きながらでも、よほよほしながらでも生きていこうよ、ということですよ。

「念佛申さんおもいたつころのおこるとき…」

私のほうはただ南無阿弥陀仏とあります

りがとうございますと、それがわかれれば分かれば、ありがとうございますと、そうして私は言葉だけしかないです。

弥陀の慈悲というのは、そうして私たちにはたらきかけていて下さるん

です。これが弥陀の本願というものです。但し、「唯五逆と正法を誹謗せんをば除く」というのがあります。

「五逆罪」というのは父を殺し、母を殺し、それから阿羅漢を殺す。阿羅漢というのは聖者という意味。

そして、こういう僧伽。みんなが集まつてくるところ、仏像を破壊したり。そういう者は助かりませんよということです。ところがこれは抑止文と言いまして、仏はこのことを涙を流して述べておるんです。私たちはそういうことを考えなくてはいけないと思いまが、親、お父さん、お母さんは「この野郎は、お前は悪いことばかりして、勘当だ」なんて言つても、必ず今頃どうしているんだろうなあと、これが親でしょ。

親の心でしょ。子はやられたことを根に持つて「帰つてやるもんか」なんて言つていますけど、親の心というのはそんなものじゃない。なんとか立派に育つてくれよと願うから、こんなことをは抑止文といいまして、十八願の一番最後にくついているんです。仏法をそつてはいけませんよと。けれども、もしそういうことをしたとしても仏は私たちを救つてくださるというのが親鸞聖人の教えです。

ここで、間違う人がいましてね、その教えを茨城の方でやりましたら「じやあ悪いことをすれば助かるんだ、逆に」と、そういうことを言つた集団ができますね、親鸞聖人も心をいためるようになりました。親鸞聖人は「善人なおもて往生」をとぐ、いわんや悪人をや」とおっしゃつておるものですから、善人が往生するなら、悪人はもつと往生する機会があるんだということを言つたもんですから、悪いことをしていいんだと、こんなことを言い出した。いろんな問題

がおこつてまいりました。さて、時間もまいりまして、ちょっと中途半端となつてしまいまして申し訳ないんですが。

どうも拙い話でありましたが、ご清聴ありがとうございました。ありましたがたいことだと思っております。

あと、思い出すようにお配りいしました。レジエメをご覧になつて頂ければと思います。何かご質問があればあります。何かご質問があればあります。

どうも拙い話でありましたが、ご清聴ありがとうございました。

どうも拙い話でありましたが、ご清聴ありがとうございました。

どうも拙い話でありましたが、ご清聴ありがとうございました。

今年の報恩講も大久保先生にお話ををお願いしております。ぜひとも

善仁寺に足をお運びになつて、直接お話を聞きくださいますことを

ここよりお願い申し上げます。

(※)4 僧伽

サンスクリット語のサンガ(sangha)のとき、四十八カ条の項目をたてて衆生救済を誓った願をいう。浄土教の根本思想ともいえるもので「大無量寿經」上巻に説かれている。

【用語解説】

(※)3 四十八願

阿弥陀仏がその前身である法藏菩薩のとき、四十八カ条の項目をたてて衆生救済を誓った願をいう。浄土教の根本思想ともいえるもので「大無量寿經」上巻に説かれている。

サムスクリット語のサンガ(sangha)の音写。和合衆・和合僧と訳す。集団教団。祖尊の教えを奉ずる仏教教団。略して僧といふ。日本では僧といえば宗教生活に専念する個人を指すが、もとは個人の意ではなく、仏教教団を表す言葉だった。

仏教法・僧伽の3つを仏法僧の三宝といい、初期の仏教教団ではこれに対する帰依を表明することが入門の儀式とされていた。

〔親鸞辭典〕菊村紀彦編／東京堂出版



「手作り念珠（お数珠）」

善仁寺同朋会世話人

岡田 保宏

四月一八日に善仁寺同朋会の教室がひらかれました。今回は手作り念珠の制作で当日は二十名ほどの同朋会員の皆さん方が参加し初めての方もいらっしゃいました。はじめに参加者全員本堂で正信偈・和讃を唱えてから教室の始まりです。

今回のお念珠は真宗大谷派の組み方で片手（輪）お念珠・紐房仕立てで教材費は二千円。男性が星月菩提樹と天然石（インド翡翠）仕立てで、女性は本水晶丸磨玉と赤瑪瑙仕立てです。



指導員は「住職（事前にお念珠の組み込み練習をされたとか）組み込み法の説明と技を教えていただき、組み込み開始です。皆さん箱を開けて思わず「オー」簡単にできると思つたのですが意外と大変そうで女性のお念珠は珠のサイズが小さく指で押さえるだけでも難しそう。

しかし女性の方には「住職が優しく丁寧にサポートしていました。

二十七珠の主珠と一珠の二天珠に紐を通すのですが、珠の孔が小さいのと紐は柔らかいので皆さん苦労しています。紐の先端を斜め切りして尖らせ糊を塗りドライヤーで乾燥

してから一珠づつ貫通。次に一珠の親珠と一珠のぼさ珠に紐を通すのですが親珠の孔は直角に曲がっていますが簡単には紐は通りません。ご住職から再度、技を教えていただき指先とつまみほどの孔に集中し、テグスと針を使って親珠に紐を貫通。後は紐房作りでここからはお念珠作りで作者の個性が現れ美しさも表現されます。

会員の皆さん自分で作ったお念珠に満足そう。片付けしてからのお茶会では「住職に珠の孔が小さすぎる、部屋の明かりが暗いとか、皆さんの愉快な会話が続きとても楽しいひとときを過ごすことができました。

お念珠は身近な仏具のひとつですが人の繋がりを表していると考えます。善仁寺ご住職と同朋会会員の方々との和を大切にして、これが



善仁寺同朋会はどなたでもご参
できるお寺の集いです。



らも正信偈に学ぶ会や懇親会で
さんと仲良く、より長くお会い
いですね。